

お知らせ

## 「国際若手ワークショップ 2016 ロンドン・セゲド」

若手研究者が世界の仲間、先輩たちと、  
寝食を共にして学び合い、向上をめざす企画です

スラブ・ユーラシア研究の分野で世界的活躍を目指す若手のために、イギリスと東欧地域で生活をともにしながら、先輩研究者の助言を受けつつ、互いに啓発しあい、将来を展望する、一週間の国際ワークショップを開催致します。

### 日時

2016年9月19日～25日

ロンドン大学スラブ東欧研究所 (前半3日間)

ハンガリー国セゲド大学 (後半3日間)

### 趣旨

昨年の夏に国際中欧・東欧研究評議会 ICCEES 世界大会が幕張で開催され、東アジアからもかつてない規模の研究者が参集しました。幕張の画期的な成果をどのように継承してゆけば良いのでしょうか。東アジアにおける次世代の研究をいかに世界の研究とつなげて共に発展できるのでしょうか。日本の役割はこれから更に重要性を増すとも言えます。

将来の研究を担う世界各地の若手研究者と集い、友人となり、自由に意見交換をして、自身と世界の研究像を構築しましょう。そのためには、経験豊かな先輩研究者からの助言を受けることが極めて有益です。国際言語である英語を用いて発表し、執筆し、討論しあおうではありませんか。

ロンドン大学スラブ東欧研究所\*は昨年、創立百周年を迎えました。次の一世紀における世界のスラブ・ユーラシア学の発展を見据え、東アジアの研究者との連携を希求しています。同研究所長ヤン・クビク氏（ポーランド出身）と語り合う中で、東アジア地域、ロンドン大学、研究対象としてのスラブ東欧地域の三者をつないで、若手のために国際ワークショップを継続的に開催する基本合意に達しました。本年はスラブ東欧地域のパートナーとして、ハンガリーのセゲド大学が名乗りを上げてくれました。

この国際的連携によるワークショップに参加して、真に世界レベルの活動をめざして、新たな一步を踏み出しましょう。奮ってご応募ください。

\*ロンドン大学スラブ東欧研究所は1915年に当時、亡命中だったT.G.マサリクを講師に迎え、創設されたのですが、背後にはR.W.シートン・ワトソンや高名なロシア研究者ペアーズ Pares等の支援がありました。同研究所からはチェコスロヴァキアや南スラヴを含む独立運動が展開し、やがてマサリクが初代大統領になるなど、その影響は比類のないものでした。すなわち研究施設であると同時に、現実の世界を動かす力をも備えていたわけです。現在は百名近くの研究者、教員を擁する世界最大のスラブ地域研究組織であり、専門家を目指す多くの学生や大学院生が世界各地から集まっています。

## プログラム

日程：2016年

9月18日	ロンドン大学スラブ東欧研究所に現地集合
9月19日～21日	若手研究者の個別研究報告と先輩研究者による指導、および自由討論
9月22日	イギリスからハンガリーに移動
9月23日～25日	若手研究者の個別研究報告と先輩研究者による指導、および自由討論
9月26日	現地解散

- 応募要件：**1) 博士課程大学院生、ポスドク研究者等。英語での発表、意見交換、論文作成などの能力向上に志を抱く方。年齢不問
- 2) 本ワークショップでの発表予定内容の概要と、期待する指導のあらましを、英文A4サイズ1頁以内の分量でまとめて下さい。  
書式は自由です。

**応募期限：**2016年7月20日

プログラム内容の詳細は順次、公示します。

旅費・滞在費で支援が必要な場合は下記の問合せ先にご相談下さい。

**応募先および問合せ先：** スラブ・ユーラシア研究センター 家田修  
email: [ieda@slav.hokudai.ac.jp](mailto:ieda@slav.hokudai.ac.jp)  
電話：090-2813-4907